

川内川水系流域治水プロジェクト
対策メニュー（案）
～中間とりまとめ時点～

令和2年9月29日

第2回川内川水系流域治水協議会

「流域治水プロジェクト」に基づく事前防災の加速

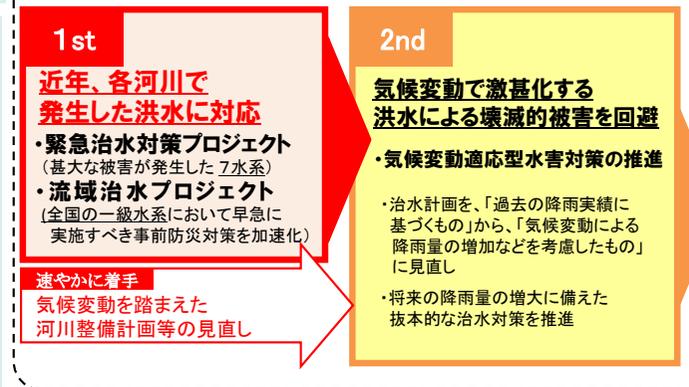
課題

◆ 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に取組む社会を構築することが必要

対応

- ◆ 河川・下水道管理者等による治水に加え、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村・企業・住民等）により流域全体で行う治水「**流域治水**」へ転換
- ◆ 令和元年東日本台風で甚大な被害を受けた7水系の「緊急治水対策プロジェクト」と同様に、全国の一級水系でも、流域全体で早急に実施すべき対策の全体像「**流域治水プロジェクト**」を示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、関係者が実施する取組を地域で中間的にとりまとめ、「**流域治水プロジェクト**」を令和2年度中に策定

今後の水害対策の進め方（イメージ）



全国7水系における「緊急治水対策プロジェクト」

◆ 令和元年東日本台風(台風第19号)により、甚大な被害が発生した7水系において、国・都県・市区町村が連携し、今後概ね5～10年で実施するハード・ソフト一体となった「緊急治水対策プロジェクト」に着手。

水系名	河川名	緊急治水対策プロジェクト (概ね5～10年で行う緊急対策)		
		事業費	期間	主な対策メニュー
阿武隈川	阿武隈川上流	約1,840億円	令和10年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 支川に危機管理型水位計及びカメラの設置 浸水リスクを考慮した立地適正化計画展開 等
	阿武隈川下流			
鳴瀬川	吉田川	約271億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堤防整備 【ソフト対策】 浸水想定地域からの移転・建替え等に対する支援 等
荒川	入間川	約338億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 高台整備、広域避難計画の策定 等
那珂川	那珂川	約665億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等
久慈川	久慈川	約350億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堤防整備 【ソフト対策】 霞堤等の保全・有効活用 等
多摩川	多摩川	約191億円	令和6年度まで	【ハード対策】 河道掘削、堰改築、堤防整備 【ソフト対策】 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔操作化 等
信濃川	信濃川	約1,768億円	令和9年度まで	【ハード対策】 河道掘削、遊水地整備、堤防整備 【ソフト対策】 田んぼダムなどの雨水貯留機能確保 マイ・タイムライン策定推進 等
	千曲川			
合計		約5,424億円		

※令和2年3月31日 HP公表時点

全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

- ◆ 全国の一級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、国民にわかりやすく提示
- ◆ 戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体の事前防災を加速

【イメージ】 ○○川流域治水プロジェクト

- ★ 戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★ ...浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

■河川対策

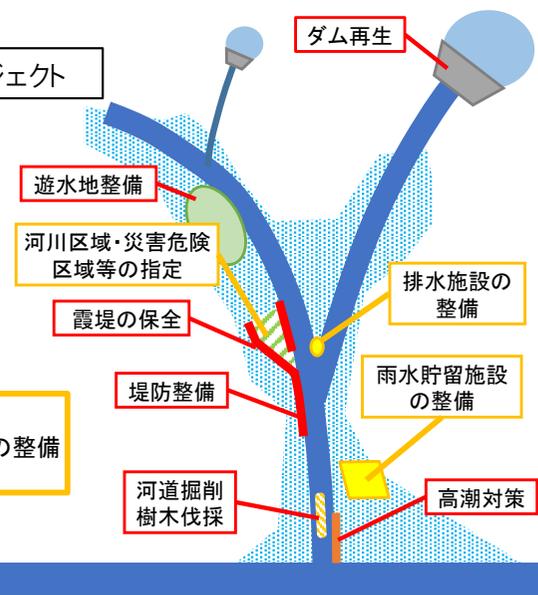
- ・堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

■流域対策(集水域と氾濫域)

- ・下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- ・土地利用規制・誘導 等

■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等



「流域治水」の施策のイメージ

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

[国・市、企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

集水域

流水の貯留

[国・県・市・利水者]

治水ダムの建設・再生、 ※可能性検討

利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水
機能の向上 ※遊水地の可能性検討

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

河川区域

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／

住まい方の工夫

[国・市、企業、住民] ※災害危険区域、立適計画

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実

氾濫域

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

※避難路・高台整備

[国・県・市]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

※今回提示した対策(案)、並びにそれ以外の案についても、今後、関係機関と連携・調整することとしており、その結果、追加・見直し等が生じる可能性あり。

集水域

雨水貯留機能の拡大

1. ため池等の治水利用・改修（補修） 【市町 等】
2. 開発行為に伴う流出増対策の強化 【市町 等】
3. 都市下水路老朽化対策・維持管理計画作成 【市町 等】
4. 雨水貯留浸透施設の整備 【市町 等】
5. 道路の透水性舗装整備 【国、県、市町 等】

河川区域

流水の貯留

6. 利水ダム等4ダムにおける事前放流等の実施、体制構築 【国、薩摩川内市、利水者 等】
7. 気候変動対応等を踏まえた洪水調節施設等の検討（河川整備計画変更） 【国 等】
※遊水地、治水ダムの建設・再生等についての可能性検討

持続可能な河道の流下能力の維持・向上 ※河川対策メニュー

8. 引堤整備、樹木伐採・河道掘削、堰・橋梁改築、河床低下対策 等 【国、県 等】

氾濫水を減らす

9. 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化 等 【国 等】

※今回提示した対策(案)、並びにそれ以外の案についても、今後、関係機関と連携・調整することとしており、その結果、追加・見直し等が生じる可能性あり。

②被害対象を減少させるための対策

氾濫域

リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫

- 1 0. 災害リスクを考慮した立地適正化計画の検討・展開 【市町 等】
- 1 1. 土地利用規制・誘導（災害危険区域等） 【市町 等】
- 1 2. 輪中堤の機能維持 【国、薩摩川内市、さつま町】

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

氾濫域

避難体制を強化する

- 1 3. 工事残土等を活用した避難路・高台整備 【国、県、市町 等】

氾濫水を早く排除する

- 1 4. 排水機場の耐水化 【国、薩摩川内市 等】
- 1 5. 排水作業準備計画の作成・普及 【国 等】

※今回提示した対策(案)、並びにそれ以外の案についても、今後、関係機関と連携・調整することとしており、その結果、追加・見直し等が生じる可能性あり。

防災学習等の推進

- 16. 川内川水系水防災河川学習プログラムの活用推進 【国、県、市町 等】
- 17. 出前講座、防災学習の実施 【国、気象台、県、市町、河川協力団体 等】

土地のリスク情報の充実

- 18. 未作成区間の浸水想定区域図等作成、及びハザードマップ作成（水害リスク情報の空白地帯解消）
【国、県、市町 等】

避難体制の検討・連携

- 19. 市町等相互による災害支援体制の構築（広域連携） 【国、県、市町 等】
- 20. 病院施設等の周辺冠水時に備えた避難路・輸送路計画作成 【市町 等】

防災情報の連携・強化

- 21. 地域住民における自主防災組織の強化 【市町 等】
- 22. 関係機関における防災情報連携の強化（共有化、見える化） 【国、気象台、県、市町 等】
- 23. 水位計・監視カメラの設置 【国、県 等】
- 24. マイタイムラインの作成 【国、県、市町、住民 等】

施設操作の高度化

- 25. 樋門・樋管等の高度化（遠隔化・自動化）検討 【国、県、市町】